



新潟県立燕労災病院

〒959-1228 新潟県燕市佐渡 633

TEL:0256(64)5111

FAX:0256(63)9819

ホームページ <http://www.tsrh.jp>

Eメール tsubame@tsrh.jp

(燕労災病院院外広報誌)

発行日 2018年7月号

発行者 鈴木 幸雄

燕労災病院の理念

◎**地域の人々のために最善の医療を提供し、地域から信頼される病院を目指します。**

病院の基本方針

◎**地域の人々の健康を守り、福祉に寄与します。**

◎**安全で質の高い医療の提供を目指します。**

◎**医療に関する教育・研修を支援します。**

◎**県央基幹病院への円滑な移行に向けた準備を進めます。**

目次:

* 着任の挨拶	1
* 乳がん検診について	2
* 医療安全研修会を開催しました	3
* 外来診療科別担当医師表	4

燕ろうさいつうしん

【 着任の挨拶 】

神経内科医師 三浦 健

2018年6月より着任しました神経内科の三浦健(みうらたけし)と申します。神経内科では頭痛、認知症、脳卒中といった比較的患者さんの多い病気から、神経の変性や筋肉に起因する難病まで、幅広い方を対象としています。心療内科や精神科と混同されてしまう場合もありますが、「神経学的検査」を通して意識・言語機能・脳神経機能・運動・感覚・反射・姿勢や歩行の様子などといったものを総合的に判断し、病気なのかどうか、病気の場合には症状の原因はどこにあるのかを診断していくのが私達神経内科です。脳や脊髄などから起こる病気を対象としていることが分かりやすいように”脳神経内科”という名称も一般的になりつつあります。

脳卒中は高血圧症や糖尿病といった生活習慣に関わりの深い病気や、心房細動という不整脈が原因で起こることも多く、急性期には内科・循環器内科の先生とも共同して治療に当たっています。脳卒中はその名の通り「卒然として中(あた)る」ものですので通常何の前触れもなく、ある日突然発症します。脳卒中の発症をきっかけに初めて糖尿病や不整脈が見つかる場合もあり、より早い段階で生活習慣の改善や治療を始めていれば予防出来たはずの方もいらっしゃいます。ぜひ定期的に健康診断を受けたり、お住まいの近くに、かかりつけの先生をもって定期的に通院したりすることをお勧めします。私たちは最終的に患者さんがお住まいの地域で元の生活に戻れることを目標に急性期の治療を行い、状態が落ち着いた後には、地域のかかりつけの先生に再発予防のための内科的治療をお願いさせて頂いています。また一旦当院の通院を卒業された方でも、かかりつけの先生方から再度診療依頼のあった場合や、脳卒中が疑われる救急対応時には病状に応じて速やかに対応致しますので、ご安心下さい。

神経難病の方の診療においては長い期間の通院の間に、症状の変化に合わせて、リハビリや福祉資源活用のための診断書等の作成などお薬以外の治療も含め、生活の質の維持・向上のためのサポートを病院内外の多くの職種の方と連携して行っています。

同じご病気でもお一人お一人の考え方やご家族の想いはそれぞれですので、予想される経過に応じて、ご希望が出来るだけ実現出来るようつとめて参りたいと存じます。 今後も、何卒宜しくお願い申し上げます。

【 乳癌検診について：ちょっとつっこんだ話含めて 】

放射線科 高野 徹

近年芸能人が乳癌となったことが大きくテレビで取り上げられ、乳癌に対する関心が高まっています。乳癌も他の癌と同じで、早期発見・早期治療することで高い治療効果が期待できますし、早く見つければ乳腺を切除する範囲も小さくて済みます。この早期発見に大きく貢献しているのが検診です。今回は乳癌検診について、画像診断医からの目線でちょっとつっこんだ話含めてお話しします。

・乳癌検診の検査

マンモグラフィーという X 線写真が検査の中心となります。乳腺を機械にはさんでから写真をとります。はさむとき多少の痛みがあるのですが、十分にはさんで写真をとったほうが病変の見つかりやすいいい写真がとれます。検査を受けているときに痛いとおもったときは、痛いほうが病気がみつかりやすいのだと置いていただければと思います。

・乳癌検診における要精密検査

検診で要精密検査と通知がくると、自分は癌で人生真っ暗だと決め付けてしまう人もいます。私自身検診で要精査といわれたことはありませんが、要精査と通知が来るとかなり落ち込むと思います。でも、精密検査をした結果、実際は癌ではない人のほうが多いのです。精密検査が必要といわれる人は大体 100 人に 5 人から 10 人くらいです。精密検査をした人のなかで本当に癌なのは 3-4% くらいです。要精密検査といわれても、がんでないひとが圧倒的に多いので、必要以上に落ち込むことはないと思うのですが、必ず精密検査は受けてください。要精密検査というのが、「癌疑い」というよりは「より詳しい検査しないとよくわからない」とたらえたほうがよいかと思います。

・乳癌検診で精密検査が多い理由

精密検査が 100 人に 5 人から 10 人って多いと感じる方いると思います。私も多いと思います。それには理由があります。マンモグラフィーを読影する際に、所見によって 5 つに分類しています。1：異常なし。2：良性。3：良性、しかし悪性否定できず。4：悪性疑い。5：悪性。以上の 5 つに分類します。要精査とされるのは 3, 4, 5 です。実際に読影していると要精査のほとんどが 3 です。3 ってわかりにくい表現ですが、実際読影している立場からわかりやすい言い方をすると、「良性だとおもうんだけど、悪性の可能性がゼロではない」といった感じです。また、正常か異常か迷うような場合もあるのですが、迷ったときも 3 とする医師が多いかと思えます。(私もそうです) このように、良性らしい場合や迷った場合も要精査に含まれるので多くなるのです。しかし、マンモグラフィーだけで間違いなく悪性という所見も時々あります。

・マンモグラフィーを診断する医師

マンモグラフィーって、どんな医師がみているかなんてあまり考えたことないかもしれません。診断を担当するのは主に外科医や放射線診断医で、間違いがないようにならざる 2 人の医師が別個にみえています。担当する医師は、検診マンモグラフィー認定医試験に合格した医師が担当することとなっています。試験は、結果により好成績のほうから A, B, C, D とランクわけされ、B 以上が合格(検診業務可能)となります。A の医師に診断してもらったほうが精度が高いこととなります。精査が必要な乳腺に対して精査が必要と評価できた率を感度といい、精査が不要な乳腺を異常なしと評価できた率を特異度といいます。感度 90% 以上でかつ特異度が 92% 以上の場合 A、感度・特異度ともに 85% 以上の場合 B となります。診断するのは 2 人で行うのですが、C の医師も A もしくは B の医師をペアで診断してもよいこととなっています。できれば A の

医師に診断してほしいとおもうのが自然な考えですが、集団検診では読影医師はランダムにわりふられるので、Aの医師となるとは限りません。病院で受ける検診（施設検診といいます）の場合は、その病院の常勤医師が診断します。燕労災病院も今年から施設検診をはじめます。ちなみに、燕労災病院は認定医は三人いて、かならずAの医師が診断にかかわるので、充実した読影環境と思います。

おわりに乳癌検診について内部事情ふくめた話をしました。乳癌検診はほかの X 線写真の検診（肺癌検診や胃がん検診）よりも効率よく癌が見つかる検査です。ぜひ受診をお勧めします

【 医療安全研修会を開催しました 】

6月14日（木）、「MRI 検査に関する安全と危険防止について」と題して放射線技術部より講演がありました。ご存知の方も多いと思いますが MRI 室では強力な磁場が常に発生しています（撮影していない時も）。

そして撮影時には電磁波（FM ラジオ程の周波数の電波）をパルス状に照射します。

そのため磁石の影響をうけるもの、電磁波の影響をうけるものは検査室内に持ち込めません。磁気の影響で吸着事故（金属が装置にくっついてしまう。場合によってはくっついたままとれなくなることも）

電波の影響で金属が熱を持ち火傷する場合があります。これは非磁性体（アルミなど磁石に付かない金属）でも起こります。体内に電子機器（心臓ペースメーカーや人工内耳等）を入れている方は撮影室に入れません。機器の故障や誤作動をおこすことがあります。磁気カード（クレジットカード等）は読み取れなくなります。時計、補聴器、携帯電話等の電子機器は故障しますまた吸着事故を起こすこともあります。

マスカラなどの化粧品には酸化鉄が含まれていることがあるので化粧は落としてもらうことがあります。

カラーコンタクトレンズにも金属が入っていることがあるので外してもらいます。また入れ墨にも金属が入っている場合が多いので検査できないことがあります。

その他手術等で体内に金属が入っている、金属加工業の方で金属粉が目や体内に入っている、妊娠中であるなどの場合検査が出来ないこともありますので不明な点などございましたら主治医や担当の技師に問い合わせ下さい。安全に検査を行うために、ご協力をお願い申し上げます。



燕労災病院 外来診療科別担当医師表

平成30年7月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科	1診	諏訪 陽子(呼吸器)	丸山 佳重(呼吸器)	林 正周(呼吸器)	諏訪 陽子(呼吸器)	丸山 佳重(呼吸器)
	2診	岩崎 友洋(消化器)	小方 則夫(消化器)	菅野 智之(消化器)	岩崎 友洋(消化器)	菅野 智之(消化器)
	3診	樋口 涉(血液)	-	-	樋口 涉(血液)	-
	4診	-	伊藤 友美(腎・透析)	森岡 良夫(腎・透析)	-	森岡 良夫(腎・透析)
	5診	北澤 勝(内分泌)	北澤 勝(内分泌)	-	-	北澤 勝(内分泌)
	新患	小方 則夫	樋口 涉	丸山 佳重/諏訪 陽子	(内科医師)	吉澤 和孝
	睡眠時無呼吸 外来	-	-	-	-	丸山 佳重(呼吸器) (13:30~)
神経内科	1診	眞島 卓弥	目崎 直実	眞島 卓弥	田中 恵子	目崎 直実
	2診	(交替制)	(交替制)	(交替制)	(交替制)	笠原 壮
	新患	(交替制)	佐藤 朋江	目崎 直実	(交替制)	眞島 卓弥
循環器内科	1診	宮北 靖	有田 匡孝	宮北 靖	中村 彰	中村 彰
	2診	-	宮北 靖	中村 彰	有田 匡孝	-
	新患	-	宮北 靖	中村 彰	有田 匡孝	-
外科	1診	中塚 英樹	二瓶 幸栄	中塚 英樹	二瓶 幸栄	二瓶 幸栄
	2診	沢津橋 孝拓	中塚 英樹	沢津橋 孝拓	-	沢津橋 孝拓
	新患	中塚 英樹 沢津橋 孝拓	二瓶 幸栄 中塚 英樹	中塚 英樹 沢津橋 孝拓	二瓶 幸栄	二瓶 幸栄 沢津橋 孝拓
	ストーマ外来	-	-	-	-	第2・4週 (8:30~12:15予約のみ)
整形外科	1診	-	金井 朋毅	-	木島 靖文 (第1.3.4.5週)	佐藤 雅之
脳神経外科	1診	小池 俊朗	小池 俊朗	三橋 大樹	小池 俊朗 (第1.3.5週)	吉田 誠一
	新患	小池 俊朗	小池 俊朗	三橋 大樹	小池 俊朗 (第1.3.5週)	吉田 誠一
皮膚科		萩原 里沙(午前)	-	齋藤 勇輝(午前)	-	-
泌尿器科		-	-	安藤 徹(第2.4週) (14:00~)	金井 利雄 (予約のみ)	-
眼科		飯川 龍(午前)	末武 亜紀	中枝 智子(午前)	佐々木 亮(午前)	青木 朗子(午前)
耳鼻咽喉科		大学医師 (13:30~)	-	-	-	大学医師 (午前)
リハビリテーション科		-	真柄 彰	-	-	-
放射線科	診断室	高野 徹	大学医師(午後)	高野 徹	大学医師(午後)	高野 徹
	リニアック	-	丸山 克也(午後)	-	笹本 龍太	塩井 美希(午後)
心臓血管外科		佐藤 征二郎 (14:00~)	-	-	-	-
人間ドック		-	-	小方 則夫(第1・3・5週) (一般ドック)	小方 則夫 (一般ドック)	小池 俊朗 (脳ドック)

【受診に際しては、以下にご注意ください】(受付時間 8:30~11:00)

- 内科：糖尿病・内分泌外来は、患者様の受診制限(お願い)をさせていただいております。
- 整形外科：予約患者様のみとなっております。
- 泌尿器科：水曜日(第2・4週、午後診察)の受付は、15:00までとさせていただきます。
- 眼科：原則として予約患者様、紹介患者様のみ(受付は10:30まで)となっております。
- 耳鼻咽喉科：月曜日の受付は、15:30までとさせていただきます。
- 心臓血管外科：予約患者様のみとなっております。

※休診や担当医師等変更の場合もありますので、受診の際は予めご確認ください。

電話番号:0256-64-5111(代表)